

2024 年 10 月

スーパーバイザーの皆様

スーパーバイザーを目指しておられる皆様

立命館大学産業社会学部教授
研究代表者 岡田まり

研究協力（試行研修への参加）のお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は研究活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、このたび、福祉現場でのスーパービジョン普及をめざして、スーパーバイザー研修の試行・評価等の研究を行うことになりました。つきましては、下記のとおり、研修に参加し、その内容や方法等についてご意見をいただける方を募集いたします。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご協力のほどお願い申し上げます。

記

1. 研究の目的

専門職としての成長と良質のサービス提供のためにスーパービジョンは重要ですが、日本の福祉現場ではいまだにスーパービジョンが定着していません。その原因の一つはスーパーバイザーの人材不足です。そのため、私たちの研究グループでは、福祉現場でのスーパービジョンの普及をめざし、多くの方々のご協力をいただきながら「社会福祉士のスーパーバイザー養成プログラムの開発と評価」（2015 年度～2018 年度）、「コンピテンシーに基づくスーパーバイザー養成プログラムのモデル構築」（2019 年度～2023 年度）を実施してまいりました。この間、職能団体でもスーパービジョン推進の取り組みを実施され、スーパーバイザー登録者は増えてきました。しかしながら、いまだに定期的にスーパービジョンを実施している職場は多くありません。

国際ソーシャルワーカー連盟は効果的・倫理的な実践やスタッフの専門的な成長等を支えるものとして職場での定期的なスーパービジョンが重要だと示しています。そこで私たちは、今年度より「ソーシャルマーケティングによるスーパービジョンの普及」（2024 年度～2028 年度）において、スーパーバイザー養成・支援のためのより効果的な研修のあり方・方法を追求するとともに、職場にスーパービジョンを導入し定着させるための方策を明らかにすることに取り組むことになりました。

2. 研究に協力いただきたい方

社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・相談支援専門員のいずれかの資格をもっているか、それと同等以上の経験があり、福祉職として勤務している方（一時的に離職していても福祉現場に戻る意思をお持ちの方を含みます）で、次のアイのいずれかにあたる人にご協力をお願いいたします。

ア. スーパーバイザー経験があり、今後もスーパービジョンを行う予定。

イ. スーパーバイザー経験はないが、スーパーバイザー研修（職能団体あるいは本研究班開催）を受けたことがあり、数年以内にスーパーバイザーになる見込み。

3. ご協力いただきたいこと

ご協力いただきたいことは、以下のスーパーバイザー研修に参加し、研修後のフォーカス・グループ・インタビューで、①研修の運営、内容、方法等についての忌憚のないご意見、②職場でのスーパービジョンの状況等についてお話いただくことです。

効果的なプログラム開発にあたっては、研修参加者視点からのご助言が不可欠です。またプログラム普及のためには、研修の企画運営および講師の視点からのご意見も貴重です。いずれの視点からでも結構ですので、研修に参加されてお気づきの点についてご教示ください。

また、職場でのスーパービジョン普及のためには、職場の実情を理解し、取り組むべき課題と可能性を見出すことが必要です。本研究の成果公表時には参加者や組織が特定されないようにいたしますので、職場での実情についてお話いただけますと幸いです。なお、本研究への参加条件として、フォーカス・グループ・インタビューのなかでお聞きになった職場のことについては、他言なさらないようお願いいたします。

研修は、以下のとおり京都、福岡、東京、徳島で実施します（オンラインは検討中）。各会場の定員は20名です。定員を超える場合は申込順とさせていただきます。

（1）日時と場所

- 京都 日時 2024年11月24日(日)10時～16時
 場所 キャンパスプラザ京都 第1会議室
 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939
 [アクセス | 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 \(consortium.or.jp\)](https://consortium.or.jp)

- 福岡 日時 2024年12月8日(日)10時～16時
 場所 久留米大学福岡サテライト
 福岡県福岡市中央区天神1丁目3-2 東館エルガーラ 6F
 [アクセス・キャンパス | 久留米大学 \(kurume-u.ac.jp\)](https://kurume-u.ac.jp)

- 東京 日時 2025年2月8日(土)10時～16時
 場所 立命館東京キャンパス 教室2
 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー8階
 [交通アクセス | 東京キャンパス | 学校法人 立命館 \(ritsume.ac.jp\)](https://ritsume.ac.jp)

- 徳島 日時 2025年2月16日(日)10時～16時
 場所 ろうきんホール
 徳島県徳島市末広町 23-64 中央テクノスクール内

(2) 当日の内容

① インフォームドコンセント

本研究についてご説明し、ご質問にお答えしたうえで、ご協力いただける方には研究協力同意書（当日お渡しします）にご署名いただきます。

② 研修

研修内容は、主として事例についてのグループ・ディスカッション、グループ発表、全体共有です。

③ フォーカス・グループ・インタビュー

- ア．研修について良かったところと改善したほうがよいところについて
- イ．職場のスーパービジョンについて

(3) データ収集

本研修を実施した証憑を残し、研修の運営や進行等について検討するために、会場内で写真撮影するとともに、固定のビデオカメラで会場での様子を録画します。また、研修の内容や方法、有用性を検証するために、各グループの机の上にICレコーダーを置いて会話を録音させていただきます。これらの録画・音声データについては、研修終了後に確認したあと、研究上必要と思われる部分だけ文章化してから消去しますので、外部に出ることはありません。演習中にご記入いただくワークシート（無記名で参加番号のみ記入）は分析のために回収いたします。ご希望であればご自身のワークシートのみ写真撮影していただいても結構です。

(4) その他

- ア．本研究についてお気づきのことがございましたら、後日でも電話、メール等でご連絡くださいますようお願いいたします。
- イ．フォローアップやデータの確認のために後日、連絡を差し上げることがございますので、その際はよろしくをお願いいたします。

4. 研究協力の同意と撤回

研究にご協力いただくかどうかは自由です。同意していただけない場合でも、何ら不利益を受けることはありません。また、同意していただいた場合でも、理由を問わず、いつでも同意を撤回し、参加を中断することができます。そのことにより何ら不利益を受けることはありません。

同意を撤回して参加を中断される場合は、口頭でも文書でも結構ですので、お申し出ください。その際、既に収集したデータについて、お申し出があれば破棄いたしますが、会場の様子を撮影した写真、動画、グループの音声データについては同意を撤回された方のデータのみ除外することができませんので、その点はご了承ください。

5. 研究に協力することにより期待される利益

研究に協力することにより、気づきや学び、他の参加者との交流が得られるかもしれません。

フォーカス・グループ・インタビューまでご参加いただいた方には謝礼として 2,000 円分の金券（Quo カードもしくはアマゾンギフトカード）をお渡しします。対面で参加される方には、昼食のお弁当とお茶をご用意いたします。現地会場までの交通費は自己負担とさせていただきますのでご了承ください。

6. 研究に協力することにより予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響

研修への参加によって心身の疲労を感じる可能性があります。また、参加するなかで得られた気づきや他者の言動により不快な思いをされる可能性もあります。研修中には適宜休憩をとりまします。また、気になることがありましたら、いつでも研修スタッフにお知らせください。

7. 研究成果の公表の可能性

研究の成果は、学会発表や論文投稿により発表します。その際には、協力いただいた方や組織が特定できないようにしたうえで公表いたします。

8. 個人情報の取扱い

取得した個人情報は、研究目的以外には使用しません。個人情報は、研究代表者の責任の下で厳重に保管し、取り扱います。個人情報を保護するために、参加者のお名前は研究データから取り除き、符号に置き換えて管理いたします。データ分析のため、またデータの開示や廃棄のご希望にお応えするために符号とお名前の対応表を作成いたしますが、対応表は鍵のかかる棚にて厳重に保管します。音声データと録画データは、研究上必要なところを文書化した後で消去します。対応表と同意書を含む文書については研究終了後5年間保存の後、シュレッダーにかけて廃棄します。個人情報が含まれない電子データにつきましては、学会発表や論文発表後に事後の検証ができるように、また、状況の推移をみるために将来、同様の調査を行う可能性がありますので、保管いたします。

なお、対応表を廃棄した後は、データ開示や廃棄のご希望にはお応えできないこと、また、一度論文等にて発表されましたら、記載内容の修正はいたしかねることをご了承ください。

9. 研究に関する資金源

この研究は、令和6年度～令和10年度科学研究費助成事業 基盤研究（B）課題番 24K00348 「ソーシャルマーケティングによるスーパービジョンの普及」の一環として実施するもので、日本学術振興会より助成金の交付を受けて実施します。

10. 研究倫理

本研究は、「日本社会福祉学会研究倫理指針」を遵守し、立命館大学における人を対象とする研究倫理審査委員会の承認（衣笠-人-2024-69）を得て実施します。職能団体や認定社会福祉士認証・認定機構等の他の組織・機関とは独立して研究を実施します。

11. 研究班

この研究は次の研究者らによる共同研究です。

研究代表者 岡田 まり（立命館大産業社会学部教授）

研究分担者 野村 豊子（日本福祉大学スーパービジョン研究センター研究フェロー）

研究分担者 片岡 靖子（久留米大学文学部教授）

研究分担者 潮谷 恵美（十文字学園女子大学人間生活学部教授）

12. 研究協力同意書

本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力くださる場合、対面で参加される方には、当日お渡しする「研究協力同意書」にご署名のうえご提出くださいますようお願い申し上げます。オンラインで参加される方には、メールでお送りした「研究協力同意書」に署名したものを研修当日にメールに添付してお送りくださいますようお願い申し上げます。

13. お問い合わせ先

立命館大学産業社会学部 岡田まり

〒603 - 8577 京都市北区等持院北町 56－ 1

E-mail: m-okada@ss.ritsumei.ac.jp

電話：090-3275-7295

研究者の研究倫理等に関する問題が発生した場合は、立命館大学研究推進課
<email: k-rinri@st.ritsumei.ac.jp>までご連絡ください。

以上

研究協力同意書

立命館大学産業社会学部教授

研究代表者 岡田まり殿

研究題目：「ソーシャルマーケティングによるスーパービジョンの普及」

令和6年度～令和10年度科学研究費助成事業 基盤研究 (B) 課題番号 24K00348

私は上記研究の実施にあたり、口頭および書面で説明を受け、質問する機会を得て、以下の項目について理解したうえで、この研究に協力することに同意します。

1. 研究目的
2. 研究の方法
3. 研究への協力は自由であり、いつでも中止できること
4. 同意の拒否や撤回、研究協力の中断をしても不利益は被らないこと
5. 疑問や質問が生じた場合には、担当者から説明がなされること
6. 個人情報保護されること
7. 研究で得られたデータは研究目的以外には使用されないこと
8. 研究成果は公表されるが、個人や組織を特定できるような情報は公開されないこと

日付 年 月 日

協力者氏名

説明者氏名